

## **Catestatin** (Human)

## Chromogranin A 由来の多機能ペプチド

ヒトの Chromogranin A は副腎髄質クロム親和性細胞, 交感神経終末をはじめ, 多くの内分泌器官の分泌顆粒中に存在し、カテコールアミンと共分泌される酸性の 439 アミノ酸残基からなる糖タンパクで、Granin family に属する $^{1)}$ 。ヒトの Chromogranin A の 250-301 位は Pancreastatin と呼ばれている。この Pancreastatin はインスリン分泌を阻害することが知られていて、その C末端にも活性があることが知られている。当社では C末端 16 残基(286-301 Amide) を Code 4214-v として販売してきた。

**Catestatin** [Chromogranin A (352-372)] は Pancreastatin の下流にあり、カテコールアミン分泌を阻害するペプチドとして報告されたが、その後多機能を持つペプチドであることが分かってきた $^{2-4}$ 。 以下に作用を列挙する。

- i) 肥満細胞からのヒスタミン放出の促進作用
- ii) ヒトの単核細胞の走化性の誘導
- iii) 皮膚病原体に対する抗菌作用
- iv) 心血管系における血管拡張/血圧低下作用

Ser-Ser-Met-Lys-Leu-Ser-Phe-Arg-Ala-Arg-Ala-Tyr-Gly-Phe-Arg-Gly-Pro-Gly-Pro-Gln-Leu

Catestatin (Human) の 構造 [Chromogranin A (352-372)]

## 文献

- 1) D.S. Konecki, et. al, J. Biol. Chem., 262, 17026 (1987). (Original; Chromogranin A cDNA)
- 2) J. Briolat, et. al, Cell. Mol. Life Sci., 62, 377 (2005). (Pharmacol.)
- 3) B.S. Sahu, et. al, Cell. Mol. Life Sci., 67, 861 (2010). (Review)
- 4) S.K. Mahata, et. al, Regul. Pept., **162**, 33 (2010). (Review)

コード	製品名	容量	価格
4214-v	Chromogranin A (Human, 286-301 Amide) Catestatin (Human) [Chromogranin A (Human, 352-372)]	0.5 mg vial	¥11,500
4470-v		0.5 mg vial	¥16,000

## 株式会社 ペプチド研究所